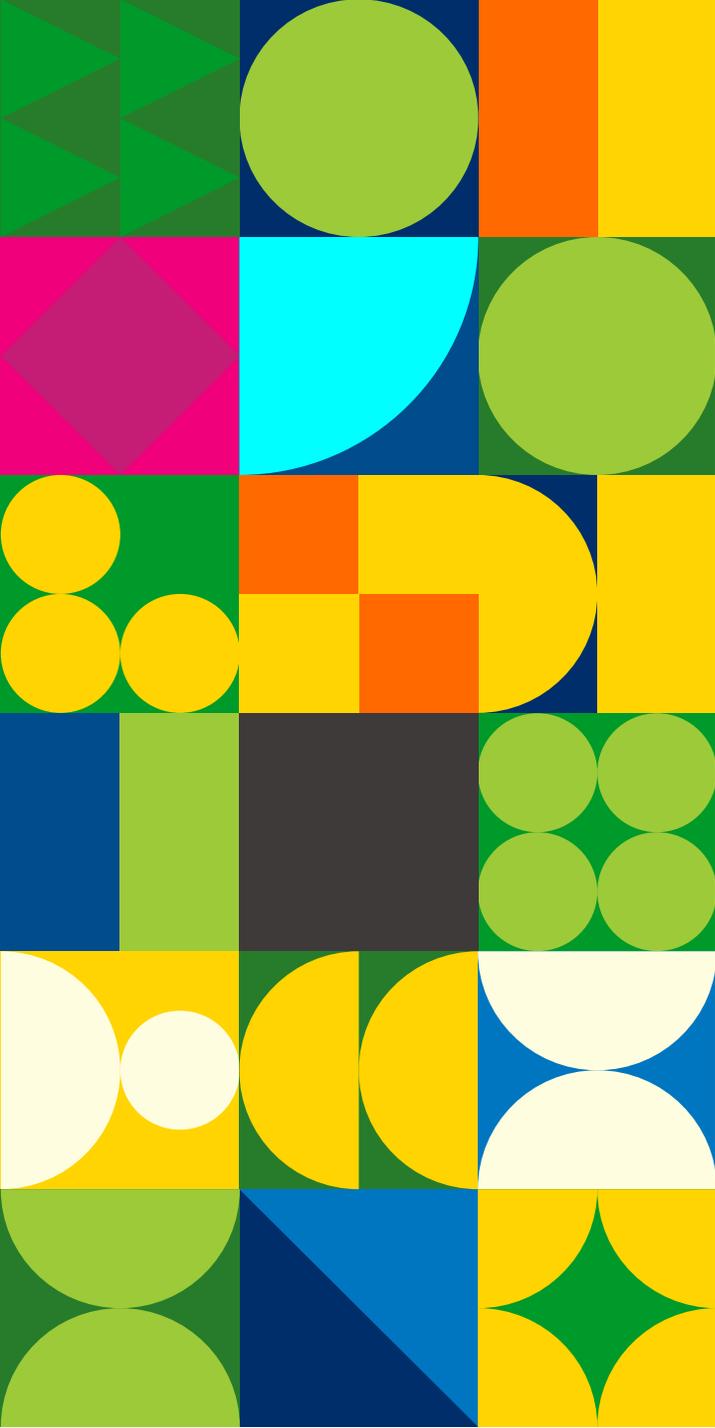


I-OPEN
PROJECT 24
REPORT



I-OPENER'S VOICE

メンタリング参加者の想い



旅先ファッションシェアを通じて、世界にあるものを分かち合い共に豊かに生きる社会を作りたい

南部 彩子 株式会社 FIT the Local

「CO2を用いて美味しい牡蠣を世界中で生産でき、その牡蠣を食べることでCO2の削減ができる」という新しいライフスタイルを世界中に広めたい。

小倉 淳 株式会社ノベルジェン



災害復興を目指す地域を支援しながら、環境に配慮した商品を提案します

片桐 紀子 株式会社 konohana



自分が美しいと思うものを後世に残したい

本田 哲郎



「ある日、買った白身魚のパッケージに、プロジェクトを象徴するロゴマークが貼ってあった。」くらい、研究者の想いが作った技術が、自然と社会に溶け込んでいる。そんな未来をつくりたい。

設楽 愛子 国立大学法人 東京海洋大学 海の研究戦略マネジメント機構



地域の魅力を再発見する手書き地図で、埋もれている地域の魅力・日常の面白さを発信したい！

跡部 徹 株式会社ロケッコ



I-OPEN
PROJECT 24

スタートアップ企業、非営利法人や個人事業主の方の体験談及び専門家のサポーター、有識者のアドバイスから、社会課題への取り組みについて共に考える特許庁主催で開催された「I-OPEN PROJECT 24 フォーラム」。メンタリングに参加した I-OPENER の気づきや成果を元に、専門家のサポーターと有識者の対話を通して、社会課題解決に使える知財活用の可能性を紐解きました。



INDEX

令和6年度に参画したI-OPENER の活動の概要

- 株式会社 FIT the Local
- 株式会社 konohana
- 国立大学法人 東京海洋大学 海の研究戦略マネジメント機構
- 株式会社ノベルジェン
- 本田 哲郎 氏
- 株式会社ロケッコ



旅先で現地の服を着て旅を楽しむファッションシェア 「旅先クローゼット」を通じてサーキュラーエコノミーの実現を目指す。

株式会社FIT the Localは、「現地で借りて旅を楽しむ旅先クローゼット」をコンセプトに、すでに地域にあるものを分かち合い、共に豊かに生きる社会を目指す。旅を彩るファッションの力で個人の体験を豊かにすること、アパレル産業の環境負荷低減、日本の観光の魅力を増大させることに取り組む。

I-OPENで取り組んだこと

- パーパス、サービスコンセプト、バリューの再構築と明文化
- ビジネスモデルとステークホルダーの整理
- 環境貢献目標の検討
- 各地域で展開するための知財活用方法の検討

知的財産の保護・活用

- サービスコンセプト「旅先クローゼット」の商標調査/出願
- バリュー「地域スタイリング」の商標調査/出願検討
- すでに取得していたビジネスモデル特許の活用検討

I-OPENER's voice

旅先ファッションシェアを通じて、世界にあるものを分かち合い共に豊かに生きる社会を作りたい

株式会社 FIT the Local
代表取締役 南部 彩子

<https://fitthelocal.my.canva.site/>



株式会社 konohana
代表取締役 片桐 紀子

- 世界包装機構（WPO：World Packaging Organisation）主催「ワールドスター賞」
- 日本包装技術協会主催
2024 日本パッケージングコンテスト
「包装技術賞 包装アイデア賞」

災害復興を目指す地域の未利用木材の有効活用を通じて、 使い捨ての消費マインドを環境配慮へシフトさせる。

株式会社konohanaは、災害復興を目指す地域の未利用木材から紙の糸で織られた傘をつくります。突然の災害でたくさん大切な人や財産を失った地域を支援しながら、使い捨てではなく、環境やモノを大切にしたいくなるような商品提案を推進していきます。

I-OPENで取り組んだこと

- 経営デザインシートを活用した事業方針の明確化
- 事業全体のパーパス、ビジョンの整理
- 福島県浜通り地域の未利用木材を紙製傘生地として利用するための模索、紙の糸による傘生地の試作

知的財産の保護・活用

- 傘の意匠動向調査、トイカプセルの意匠動向調査
- 「konohana」の商標調査

I-OPENER's voice

「災害復興を目指す地域を支援しながら、環境に配慮した商品を提案します」



国立大学法人東京海洋大学
 海の研究戦略マネジメント機構
 設楽 愛子

<https://olcr.kaiyodai.ac.jp/>

大学発の養殖技術で、世界の持続的な食糧生産に貢献したい。その思いを支えるため、商標権などを使ったブランディング戦略を提案。

日本とタイの国際共同研究により開発された高品質アジアスズキ。高品質で美味しいものの、公的研究機関や大学が中心となった事業化の取り組みは壁に直面していた。I-OPEN事業を通して、これまでにないネットワークや知的財産の活用アイデアが生まれ、大学単独では解決できなかった課題への対応策が見えてきた。

I-OPENで取り組んだこと

- 課題意識やビジョンの共有
- 雑誌ビジョンワークや Business Origamiを活用した課題の整理、ステークホルダーマップの作成
- ロードマップの作成
- 商標+GI+特許を活用したブランディング戦略の検討

知的財産の保護・活用

- プロジェクトロゴマークについて商標調査、商標化へ向けての検討、ガイドラインの作成
- 地理的表示制度（GI）の活用

I-OPENER's voice

「ある日、買った白身魚のパッケージに、プロジェクトを象徴するロゴマークが貼ってあった。」
 くらい、研究者の思いが作った技術が、自然と社会に溶け込んでいる。そんな未来をつくりたい。



株式会社ノベルジェン
小倉 淳

<https://novelgen.jp/>



CO2を利用して養殖後の牡蠣の身入りを短期間で改善し、日本の牡蠣の輸出を増やすと共に、サステナブルで美味しい牡蠣を世界中に届ける

微細藻類の能力を最大化する藻類ブルーム炭素回収技術（ABC）とABCを利用したCO2固定、水浄化、タンパク質生産等のソリューション技術を開発する企業。地球温暖化・海の清浄化に起因する牡蠣の身入り低下と地球温暖化の原因であるCO2削減の両面に貢献できる技術の開発と本技術のグローバルな展開を目指す。

I-OPENで取り組んだこと

- コア技術による生み出される価値の確認
- ステークホルダー及び各ステークホルダーへの訴求価値の整理、並びにペルソナの設定と具体的な提供価値の検討
- 提供価値を表すブランドネームの抽出、商標調査の実施、及び商標出願の検討

知的財産の保護・活用

- コア技術とコア技術を用いたソリューション技術の知財化（特許権、ノウハウ）と知財を用いたオープン・クローズ戦略
- 提供価値を体現したトレードマーク・商標権の取得と、コア技術利用者への商標ライセンスによる仲間づくりとブランドの周知化

I-OPENER's voice

「CO2を用いて美味しい牡蠣を世界中で生産でき、その牡蠣を食べることでCO2の削減ができる」という新しいライフスタイルを世界中に広めたい。



本田 哲郎

<https://www.facebook.com/tetsuro.honda.336/>

京友禅 色挿し職人の父が持つ美しい配色の経験知と美的感覚を形式知化したい

京友禅の色挿し職人である父の技を、単なる家業の継承ではなくAI等を活用して次世代への伝承に挑戦するプロジェクトです。京友禅の美しい配色を生み出す技能の伝承こそが重要だと考え、技能の抽出と伝承を目指します。

I-OPENで取り組んだこと

- 伝承するポイントの整理：単に見た目の美しさだけでなく、製作過程のノウハウにも深い価値がある。
- 方向性の明確化：I-OPENER自身の意志を深掘りすることで、プロジェクトの方向性を決定した。
- 特許の可能性：京友禅のAI活用における特許出願の可能性について検討した。

知的財産の保護・活用

- 様々な可変パラメータを入力することで、下絵から色挿し後イメージを出力するモデルの特許/出願検討中

I-OPENER's voice

「自分が美しいと思うものを後世に残したい」



株式会社ロケッコ
（手書き地図推進委員会）
跡部 徹

<http://www.tegakimap.jp/>



書籍 『手書き地図の作り方』
書籍 『手書き地図の教科書』



サポーター：

田中美帆（株式会社cocoroé 代表取締役/ソーシャルデザイナー）

林沙也佳（弁理士法人秀和特許事務所/弁理士）

「あなたの日常」が観光地の新たな資源に！ ～インバウンド偏在化を解決する手書き地図の力～

10年間培ってきた手書き地図作成のノウハウを活かし、インバウンド観光地の偏在化問題を解決します。「あなたの日常は、誰かの非日常」という視点から、地域に根付いた文化や魅力を再発見し、新たな観光資源として発信。これにより、日本各地の地域活性化を促し、人々が誇れるまちづくりを目指します。

I-OPENで取り組んだこと

- 事業のユニークさと強みの再確認、課題の洗い出し、解決手段の方向性を整理
- 全国各地からの引き合いに応じるべく、公認ファシリテーター制度の導入検討
- 手書き地図事業におけるインバウンド観光客向けビジネスモデルの検討
- インバウンドの多いエリア（浅草・京都）での実証実験の計画

知的財産の保護・活用

- インバウンド向け「手書き地図」サービス名の商標出願（予定）
- インバウンド観光客が視点を発見・投稿する仕組みのKey Visualを意匠出願（予定）
- 上記に紐づく投稿データ活用に関するビジネスモデル発明を特許出願（予定）

I-OPENER's voice

地域の魅力を再発見する手書き地図で、埋もれている地域の魅力・日常の面白さを発信したい！

I-OPEN